

京都芸術大学×北白川小学校

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学×西京極西小学校

京都市立芸術大学×下京涉成小学校×加茂川中学校

成安造形大学×醍醐小学校×醍醐中学校

京都市京セラ美術館×桃陵中学校

京都精華大学×岩倉南小学校

京都美術工芸大学×安朱小学校

京都芸術教育フォーラム2025

Kyoto Artistic Education forum



2026.1.19(Mon) 17:10～20:00

申込期間：令和7年12月15日（月）～ 令和8年1月13日（火）

定員：100名（事前申込制・先着順）

会場：京都市京セラ美術館 講演室本館地下1階

参加費不要
途中参加・退出OK



フォーム



電子メール

申込方法：①～③を記載のうえ、電子メールまたはフォームからお申し込みください。

①氏名 ②E-mailアドレス ③学校関係者は勤務する学校の校種を教えてください

（例：中学校美術科教員）※学校関係者でない方は③の回答不要

・申込先アドレス：gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp

・先着順のため、参加の可否は、後日、受付完了メールでお知らせします。

・「@edu.city.kyoto.jp」からのメールを受信できるように設定していただくようお願いいたします。

・オンデマンド配信につきましては、別途検討中（申し込みいただいたメールに案内予定）。



地下鉄東西線「東山駅」徒歩8分
京阪本線「三条駅」徒歩16分

京都芸術教育フォーラム2025

芸術系大学や美術館と小中学校の協働から、新たな学びや発想を生み出そう！

将来の予測が困難とされる時代の中、豊かな感性や想像力等を育む芸術教育の重要性は増えています。京都芸術教育コンソーシアム（Art-e Kyoto）フォーラムは、平成24年度の設立以来、今回で14回目となり、芸術教育の普及に努めてきました。今年度のフォーラムでは、芸術系大学等と小中学校の芸術教育の共同研究事例を発表します。

本市では、主体的・対話的で深い学びを実現するために、子どもたち自身が芸術の素晴らしさや多様性に気付くことのできる授業実践を、連携校を中心に各校で進めています。子どもたちは、いま何をどのように学ぶべきか。京都の芸術教育の取組にご注目ください。

京都精華大学

岩倉南小学校：工作クラブの児童を対象に、年12回「ものづくりワークショップ」など、様々なワークショップを実施。

※パネル展示

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学

西京極西小学校：「西西コマコマシアタープロジェクト」と題し、図画工作科の授業で、コマ撮りアニメに挑戦。完成作品は地域の夏祭りで上映。



京都市立芸術大学

下京涉成小学校：空き教室を使ったアートインレジデンスのメンバーを中心に、小学校の作品展での展示や交流、授業内での作品制作などを実施。加茂川中学校：中学生と大学生が同じ題材で立体作品を制作し、互いに鑑賞しながら交流。

成安造形大学

醍醐中学校：仏像の素材や製作技法について事前学習し、醍醐寺の五大明王鑑賞を見学。醍醐小学校：紙コップ積み上げワークショップによる協働的な造形活動や、大学生の作品を題材に対話型鑑賞を実施。

京都芸術大学

北白川小学校：授業を設計することを研修の主軸に置き、大学での対話型授業のノウハウを盛り込みながら小学校の先生が授業を設計。

京都市京セラ美術館

桃陵中学校：京都市京セラ美術館で「コレクションルーム秋期」を見学。事前に作ったオリジナル文様を展示作品の額縁とするなら、どの作品が合うのか考える鑑賞授業を実施。

京都美術工芸大学

安朱小学校：防災・防犯をテーマに日めくりカレンダーを制作。絵の描き方やデザインの方法等を指導し、成果物は地域にも公開。 ※パネル展示



主催：京都芸術教育コンソーシアム（Art-e京都）

平成24年度に設立。京都・滋賀の芸術大学や小中学校の研究会などが連携し、大学における教育・研究の発展、次代を担う子どもたちの生きる力を育む芸術系教育の充実・振興に努め、芸術創造都市・京都の創生に寄与することを目的としています。

参加団体：京都市立芸術大学、京都精華大学、京都芸術大学、嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学、成安造形大学、京都美術工芸大学、京都市京セラ美術館、京都市図画工作教育研究会、京都市立中学校教育研究美術部会、京都市、京都市教育委員会

問い合わせ先：京都市教育委員会事務局指導部学校指導課 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 北庁舎7階 TEL: (075) 222-3815

